

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、弱めの指標がみられるものの、全体としては横ばい圏内の動きとなった。

最終需要の動向をみると、住宅投資は弱めの動きとなったものの、公共投資は増加基調を維持している。また、個人消費も消費税率引き上げの影響による振れを伴いつつも底堅く推移している。この間、設備投資は前年を下回る動きとなっている。

こうした中、生産は横ばい圏内の動きとなった。雇用・所得環境は着実に改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回った。

2. 需要項目別の動向

(1) 公共投資・・・増加基調

11月の公共工事請負金額は、国が減少したものの、県、市町村などが増加したため、全体では前年を上回った（前年比8.6%）。

（図表1）公共工事請負金額 前年比、%

	2018年 12月	2019年 3月	6月	2019年 9月	10月	11月
山形県	81.5	82.2	75.9	13.2	51.7	8.6

＜資料＞東日本建設業保証(株)

（注）pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

(2) 設備投資・・・前年を下回る動き

10月の建築着工床面積（民間非居住用）は、運輸、農林水産業などが減少したものの、宿泊・飲食サービス、教育・学習支援などが増加したため、全体では前年を上回った（前年比14.5%）。

12月短観における2019年度の設備投資計画（全産業）は、前年に実施した大規模投資の反動減がみられており、前年度を下回る計画（前年度比▲28.8%）。

（図表2）建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2018年 12月	2019年 3月	6月	2019年 8月	9月	10月
山形県	▲20.4	▲59.5	▲52.4	2.3倍	▲12.0	14.5

＜資料＞国土交通省

（図表3）県内企業の設備投資額（2019年12月山形短観） 前年度比、%

山形県	2017年度（実績）	2018年度（実績）	2019年度（計画）
全産業	47.5	3.2	▲28.8< 2.6>
製造業	70.7	▲9.0	▲30.1<▲1.0>
非製造業	16.5	26.5	▲27.1< 7.7>

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉内は前回調査比修正率、%

(3) 個人消費・・・消費税率引き上げの影響による振れを伴いつつも底堅く推移

10月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減等により前年を下回った（前年比▲3.4%）。この間、ホームセンターは前年を下回ったものの、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売 前年比、%

山形県	2019年 1~3月	4~6月	7~9月	2019年 8月	9月	10月
全店	▲2.3	0.1	0.2	1.2	4.1	▲3.4
既存店	▲1.3	▲0.6	▲0.1	0.5	5.0	▲2.7

〈資料〉経済産業省

11月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を下回った（前年比▲23.2%）。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数 前年比、%

山形県	2018年 12月	2019年 3月	6月	2019年 9月	10月	11月
乗用車 合計	8.3	▲4.5	▲4.8	10.3	▲27.3	▲23.2
普通車	5.9	▲4.1	▲8.6	10.0	▲22.4	▲27.7
小型車	4.0	▲6.6	▲6.4	1.1	▲34.5	▲20.8
軽四輪	14.7	▲3.0	0.1	19.0	▲24.3	▲21.9

〈資料〉東北運輸局

(4) 住宅投資・・・弱めの動き

10月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲とも減少し、全体では前年を下回った（前年比▲32.0%）。

(図表6) 新設住宅着工戸数 前年比、%

	2018年 12月	2019年 3月	6月	2019年 8月	9月	10月
山形県	50.5	▲3.9	17.8	▲1.9	▲4.1	▲32.0
持家	15.9	21.2	▲3.6	▲18.3	▲25.4	▲44.0
貸家	18.6	▲23.7	▲24.3	7.3	▲1.6	▲18.5
分譲	3.9倍	▲11.6	4.2倍	39.2	2.2倍	▲10.4

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・横ばい圏内の動き

9月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った（前月比▲1.5%）。業種別には、金属製品、食料品など12業種が上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械など10業種が低下した。9月の在庫指数（季節調整済）は、前月を上回った（前月比4.1%）。

（図表7）鉱工業指数

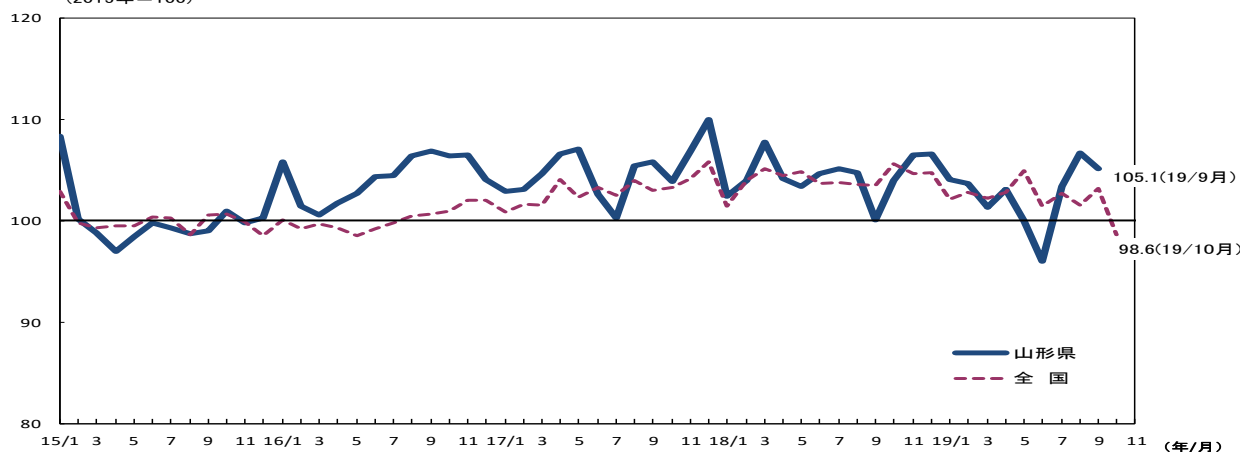
2015年基準

山形県		2018年 12月	2019年 3月	6月	2019年 7月	8月	9月
生 産	季節調整済前月比%	0.1	▲2.3	▲4.0	7.7	3.2	p ▲1.5
	原指数前年比%	▲4.5	▲7.7	▲9.8	0.1	▲2.0	p 6.9
在 庫	季節調整済前月比%	2.3	6.7	2.6	5.0	▲1.0	p 4.1
	原指数前年比%	▲0.1	7.1	2.0	8.4	12.5	p 6.8

〈資料〉山形県企画振興部

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移

（2015年=100）



〈資料〉経済産業省、山形県企画振興部

4. 雇用・所得環境・・・着実に改善

10月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.53倍となった。業種別の新規求人数は、建設、サービス業が増加したものの、卸・小売、製造業などが減少した。10月の雇用保険受給者は、前年を上回った（前年比4.3%）。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%、〈〉内は前年比

山形県	2019年 1～3月	4～6月	7～9月	2019年 8月	9月	10月
有効求人倍率	1.62	1.54	1.49	1.50	1.52	1.53
完全失業率	1.7	1.5	1.6	—	—	—
雇用保険受給者	〈▲0.1〉	〈2.2〉	〈8.1〉	〈7.6〉	〈8.1〉	〈4.3〉

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

（注）雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

9月の常用雇用指数は、引き続き前年を上回った（前年比1.2%）。業種別には、生活関連サービス、建設などは前年を下回ったものの、製造業、サービス業、医療・福祉などは前年を上回った。

9月の所定外労働時間は、前年を下回った（前年比▲7.3%）。業種別には、建設、生活関連サービス、卸・小売などは前年を上回ったものの、製造業、宿泊・飲食サービスなどは前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2) 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2018年 12月	2019年 3月	6月	2019年 7月	8月	9月
常用雇用指数	1.4	0.4	1.7	1.5	1.4	1.2
所定外労働時間	▲13.6	▲9.5	▲11.4	▲9.1	▲10.6	▲7.3

<資料>山形県企画振興部

9月の現金給与総額（名目賃金指数）は、医療・福祉、教育・学習支援などが減少したものの、卸・小売、建設、サービス業などは増加したため、前年を上回った（前年比0.7%）。

9月のきまって支給する給与は、前年を上回った（前年比0.9%）。

(図表 11) 所得関係指標 2015 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2018年 12月	2019年 3月	6月	2019年 7月	8月	9月
現金給与総額 (名目賃金指数)	▲1.7	▲2.4	▲1.9	4.7	▲0.8	0.7
きまって支給 する給与	▲2.7	▲1.5	▲1.2	0.6	0.9	0.9

<資料>山形県企画振興部

5. 企業倒産・・・落ち着いた動き

11月の企業倒産（負債額10百万円以上）は、件数（3件）、負債総額（5.7億円）とも引き続き低水準（<前年同月>倒産件数4件、負債総額1.4億円）。

(図表 12) 企業倒産 件、億円

山形県	2018年 12月	2019年 3月	6月	2019年 9月	10月	11月
件数	5	7	5	6	2	3
負債総額	1.8	8.5	7.7	3.0	0.5	5.7

<資料>(株)東京商工リサーチ

6. 物価・・・前年を上回る動き

10月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、住居、教養娯楽などが前年を上回ったことから、全体でも前年を上回った(前年比0.3%)。

(図表13) 消費者物価指数

2015年基準、前年比、%

山形市	2018年 12月	2019年 3月	6月	2019年 8月	9月	10月
総合	0.4	0.8	0.8	0.1	0.2	0.3
生鮮食品を除く総合	0.7	1.3	0.5	0.2	0.2	0.3

<資料>山形県企画振興部

7. 金融

10月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った(前年比0.8%)。一方、10月の県内貸出(銀行+信用金庫)は、前年を下回った(前年比▲0.9%)。

この間、10月の貸出金利は前月と同水準となった(前月比0.000%ポイント)。

(図表14) 預金、貸出金

%

山形県	2018年 12月	2019年 3月	6月	2019年 8月	9月	10月
実質預金+CD (末残前年比)	0.3	0.0	0.7	1.1	0.1	0.8
貸出金 (末残前年比)	0.3	▲0.1	▲0.8	▲0.8	▲1.1	▲0.9

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2019年 1~3月	4~6月	7~9月	2019年 8月	9月	10月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.004	▲0.004	▲0.01	0.000	▲0.003	0.000

10月末水準
1.003%

<資料>日本銀行山形事務所

- (注)山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL: 023-622-4004